
2020年度 連結業績予想の修正について

2021年4月26日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□2020年度 連結業績予想	・・・	2
□2020年度 連結業績予想の修正概要	・・・	3

■ 2020年度 連結業績予想

2021年1月28日に公表した連結業績予想につきまして、今冬の寒波の影響などについて、至近の動向を反映し、以下のとおり修正いたしました。

なお、当社は2021年4月28日に2020年度の決算発表を予定しております。

(単位：億円、億kWh)

	2020年度見通し			今回見通し 対前年度増減
	今回公表 (A)	1月公表 (B)	増減 (A)-(B)	
売上高	7,410程度	7,190程度	220程度	△70程度
営業利益	530程度	390程度	140程度	110程度
経常利益	410程度	300程度	110程度	80程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	360程度	260程度	100程度	90程度
(対前期増減率) 小売販売電力量	(△4.3%程度) 227程度	(△5.0%程度) 225程度	2程度	△10程度

【寒波および新型コロナウイルス感染症の影響】 小売販売電力量における、今冬の寒波の影響は、1億kWh程度(1月公表:1億kWh程度)、新型コロナウイルス感染症の影響は、△4億kWh程度(1月公表:△5億kWh程度)と見込んでいます。

【前年度の高圧検針日変更による影響】 高圧の一部お客さまの検針日を変更したことにより、前年度の小売販売電力量が増加したため、2020年度は、前年度に比べ△7億kWh程度の影響があると見込んでいます。

【主要諸元】

為替レート (円 / \$)	106程度	106程度	同程度	△3程度
原油CIF価格 (\$ / bl)	43.0程度	42.0程度	1.0程度	△24.8程度

■ 2020年度 連結業績予想の修正概要

小売販売電力量	新型コロナウイルス感染症の影響の縮小などから、 前回予想に比べ2億kWh程度増加の227億kWh程度となる見込みです。
売上高	1月分の寒波影響額の増加などにより、 前回予想に比べ220億円程度増加の7,410億円程度となる見通しです。
経常利益	1月分の寒波影響額の増加に加え、燃料・資機材調達などの効率化の上積みなどから、 前回予想に比べ110億円程度増加の410億円程度となる見通しです。

<連結業績予想の修正内容について>

(単位：億円程度)

